

鈴木
木
孝
一

学校祭を振り返って

生徒会長 3年 工藤 快斗



今回の祭はとにかく「大変」の一言でした。私は生徒会執行部としての企画・運営や、実行委員会の関係の

準備そしてクラス・有志発表の練習で休みのない日々でした。中でも大変であり印象に残ったことは、一般公開時の「生徒会ミニゲーム」です。事前の準備では、参加者や観覧している方がすぐに分かるようなルールを決めたり、必要物品を用意したりして、台本作りをしました。特に、全校生徒に情報を伝えることや企画依頼のためにたくさん資料を作るのが大変でした。そして、当日は参加者集めから始まり、司会進行を行いました。事前準備を忘れたトラブルもありましたが、執行部に助けられながら当日の仕事を無事に終えることができました。

また、ミニゲームも3つ用意していたので休む暇もなく次々と司会を遂行しなければならなかったです。お腹がすいたなと思うながら仕事していると会場



に来てくださった方から「今回の学校祭は楽しいね」というお褒めの言葉をいただき、今日まで頑張ってきた。備えてきて良かったなと思いました。私はこの経験を通して、労を惜しまず仕事をすれば楽しいこともあると学びました。仕事をする中で先生に褒められたり、一般公開に来てくださった方から感謝されたりといった経験は何事にも代えがたい経験でした。



学校祭の思い出

3年 田中 沙奈

1日目のクラス発表、1年生は「商業科！」って企画で盛り上がりすぎて面白かったし、3年生はみんなめっちゃ完璧になつて凄かったです。あと途中で衣装の綿が雪みたいに見えるのでめっちゃ面白かったです。ドラムも練習よりは上手く出来たんじゃないかなと思います。有志発表はテンポが一定にならなかったし、音大きかったしで反省点だらけでしたが、楽しかったうえ1位なれたので良い思い出になりました！

生徒会企画のお宝は全く当たらず、ほとんどというか全部1年生に当たってちよつと面白かったです。謎解きをやりたかったけど、全然見つけられませんでした。

2日目の一般公開は結構人が来てくれて模擬店は後半大忙しでした。めっちゃくちや日差し強くて暑かったためかアイスは完売して達成感がありました。すぐ溶けちゃって最後まで揃えず、足りなくなつたのはちよつと残念です。券売式だったので、すぐに商品と引き換えてくれない人もいました。その辺の対策も考えておいた方が良かったのかもかもしれません。

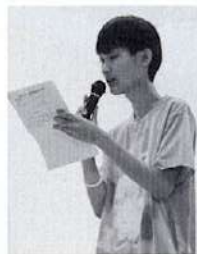
ビンゴ大会では4番目に上がれて、会長賞が当たりました。中身はさんじゅーろーグッズと1年生が販売していたきゅーりが入っていて嬉しかったです。きゅーりは帰ってから食べましたが、すごく美味しかったです。

花火は思っていたよりも豪華で、打ち上げ時間も長くてすごく綺麗でした。学校祭は楽しかったし大変だった分、終わった後の寂しさが大きかったです。終わった後は全く実感なかったのに、時間が経つにつれて「もうないのか！」って気持ちがでてきて悲しかったです。すごく大きな思い出になりました。



奈商祭を終えて

1年 小川 晴幸



奈商祭が終わり、これらの学校生活のモチベーションがなかった今日この頃。今思うと色々な思い出

出をつくることができました。一つ目は、実行委員についてです。盛り上げ実行委員といい、2日目にいったレクを企画したのが主な仕事でした。神経衰弱のルールを少し変更したゲームをやり、参加者から笑顔が見られる時間となりました。しかし、僕はボーっとして行動が少し遅れてしまったことがあったので少し反省しています。

二つ目は、クラス発表についてです。主な仕事内容として、クラス発表台本作成、司会などの仕事に関わりました。自分一人ではできないことがたくさんあり、クラス全員で協力しあい、なんとか成功を収めることができました。しかし、「上には上がある」という言葉の通り、3年生の発表は、衣装や台本、特技の発表などで、かなり完成度が高かったです。来年度は2年生になるので少しでも盛り上がるような発表をしたいと思います。

そして最後に、奈商祭最後に打ち上げられた花火です。何気なく一番印象に残っています。花火が終わると、これで終わりかあ」とドッと疲れから開放されました。花火は写真に収めることができたので、一生の思い出となるでしょう。そして、思い出す度に「いい夏だった」と思える奈商祭にできて本当によかったと思います。

キュウリ栽培体験記

生徒の感想のまとめ

1年生は「総合的な探究の時間」に「奈井江町の農業を知ろう」というテーマのもと、5月17日、6月25日、28日の3回にわたって、奈井江町内の林農園さんで、キュウリの苗植えから収穫までの作業の一部分を体験した。

林農園さんで栽培している品種は「ディソール」。キュウリは病気になるやすいので、それを防ぐために、キュウリの苗はかぼちゃに接ぎ木されている。家庭菜園と、販売用に栽培している農家さんとは、育て方が根本的に違う。最初の苗植えでまず驚いた。

苗を植える時は、苗の茎の部分を持ち、土が掘ってある所に苗を入れたら、キュウリの苗についている土を軽く押し、さらにシートと苗の間にも土を入れる。けっこう気を使った。しかし、私たちがやった作業は苗植えだけ。でも、農家の方は、それまでに土を耕したり苗を植えるための穴を開けたりする作業がある。とても大変だと思った。

また、キュウリの成長は早く、3〜4週間ほどで収穫が可能になる。収穫に適した大きさは、手のひらが大きい人の親指から小指までの長さ程度になった時。あつという間に大きくなりすぎるので、収穫時を見極めるために毎日観察しなければならぬ。「キュウリカッター」を使って一本一本丁寧にカットした。収穫したキュウリの向きをそろえてカゴに入れ、大事に箱に入れた。

しかし、キュウリ栽培はカットしただけで終わりではない。その後から生えてくるキュウリに送る養分を、使用済みの茎に送らないようにするために下葉をとる作業が必要なのだ。ほぼ毎日行わないとどんどん新しい余分な葉が生えてくるから大変だ。毎日の繰り返し

美味しいキュウリができることにつながっていく。

キュウリ栽培の体験を通して、農家の方々が新鮮で美味しい野菜を作るために、暑いビニールハウスの中で、毎日大変な作業をたくさんしていることを実感した。これからは農家の方々の苦勞を思い出しながら、美味しい野菜を食べられることに感謝したい。

林農園さんのキュウリを学校祭で売ることになった。たくさん売るためには、ポップ作りなどの事前の作業が必要不可欠だ。また、販売する時は、お客様の耳に宣伝の音が届くように大きな声を出した。自分たちが植えて収穫したキュウリが、商品として買ってもらえて嬉しかった。しかも「美味しい」と言われ、もっと嬉しくなった。販売する時は迅速に会計作業をしなければならなくて大変だったけれど、お客様に喜んでもらえたうえ、完売して良かった。

部活動大会結果報告

〈弓道部〉

○令和6年度 空知高等学校弓道選手権大会
兼 第70回北海道高等学校弓道競技大会
空知支部予選会 (5月22日~23日 滝川市)
3年 木村 萌衣 (8射0中)
3年 柿崎 希絆 (8射0中)



〈商業部〉

○令和6年度 第69回北海道高等学校ワープロ競技大会 兼 第71回全国高等学校ワープロ競技大会北海道予選 (6月13日 札幌市)
団体 9位 (21校中)
出場者 3年 小泉 勝利、富田 尚宏
豊嶋 大樹、工藤 快斗
萩生田 蔭斗
1年 小川 晴幸



〈茶道部〉

○第31回 (令和6年度) 茶道裏千家淡交会学校茶道岩見沢支部内研修会 (8月25日 岩見沢市)
参加者 3年 荒川 陽香
1年 田中 杏依



キュウリ下葉取り



キュウリ苗植え



キュウリ収穫

キュウリ栽培・収穫体験のほか、5月28日には学校の隣にある笹原様宅の圃場で、田植えも体験した。



町内クリーン作戦



対面式



入学式



高体連支部大会壮行会(弓道部)



交通安全教室



生徒総会



地元企業説明会



ビジネス実務検定



全道大会壮行会(商業部)